

がんとアピアランスケア

Vol.02
2019.11.02

市民公開講座が 開催されました



秋晴れの爽やかな空のもと、栃木医療センター市民公開講座が開催されました。今回の市民公開講座のテーマは『がんとアピアランスケア』。アピアランスケアとは、がん治療における外見の変化に対してサポートし、そして、治療中においても自分らしくいられるよう、外見のサポートを含めて患者さん本人を支えていくことです。今回は、放射線治療やリンパ浮腫、紫外線について私たちアピアランスケアセンターのスタッフがお話させていただきました。第二部では、特別講師として、がん患者さん専用のビューティーサロン『セラナイト』のさとう桜子講師より、今なぜアピアランスケアが必要なのか、ご自身の体験も踏まえてお話ししていただきました。会の最後には、患者さんと講師だけの時間とさせていただきます、眉毛の描き方を実践方式で行いました。

ご参加いただいた皆様からのお声

アピアランスケアという分野について、積極的に取り組まれているところが良かったです。チームワークが素敵です。(患者様)



美容と医療とはすごく関係性が深いと、改めて実感しました。がんと闘う方達は不安感が大きいと思う中、この様なセミナーで安心感が得られると思います。(サロン経営者)



アピアランスケアについてほとんど知らなかった。実際に、治療を体験した方からのお話を聞くことができ、患者さんがどんなことを思っているのか、どういった対応をしたほうが良いのかなど、考えることが出来て良かった。(医療従事者)



アピアランスケアセンター スタッフによる講座

- ① 『当院での放射線治療について』
がん放射線療法看護認定看護師 岡本夏織
- ② 『リンパ浮腫とは?』
作業療法士 高橋友香
- ③ 『治療中における美容サポート～紫外線～』
診療放射線技師 小村優

さとう桜子氏によるメイク講座



誰でも、TPOや周囲の状況、年齢、流行などに合わせ、髪型や化粧、服装などを変えることはあり、外見は一定ではありません。それはがんに罹患しても同じであります。『アピアランスケア』という言葉は、まだまだ栃木県内そう多くは広まっておりません。今回の講座が、アピアランスケアはなぜ今必要なのかと、少しでも患者さんやご家族の方、お友達、そして私たち医療従事者や美容関係者も考えるきっかけになればと思います。



文責:アピアランスケアセンタースタッフ 放射線科 小村